

一般会計と特別会計の平成18年度予算上期の執行状況

特別会計及び企業会計への繰出金の状況

特別会計や企業会計に対して各事業の推進を図るため、法令等に基づいて一般会計が一定の額を負担することとしているもので、特別会計へは繰出金として、また、企業会計へは支出金として経理されます。

平成18年度は、長期化する市中経済の低迷から、自主財源である市税調定額の減少や、「三位一体改革」の影響による地方交付税の減少から、厳しい状況にある一方で、歳出は、義務的経費や各会計繰出金の増高などにより、市の財政状況は依然として危機的状況が続いております。

こうした財政状況の中で、限られた財源を創意と工夫をもって効果的に配分し可能な限り各種施策の確保に努め、学校給食共同調理場統合事業をはじめ、市営住宅整備事業、道路改良事業などの生活環境整備など、各種施策を進めてまいります。

会計区分	決算額	構成比
特別会計		
交通傷害共済	31万6千円	—
国民健康保険	3億6,997万1千円	22.9%
老人保健	2億2,862万3千円	14.1%
汚水処理	1,475万3千円	0.9%
介護保険	1億8,631万9千円	11.5%
小計	7億9,998万2千円	49.4%
企業会計		
港湾会計	6,430万3千円	4.0%
水道会計	3,456万2千円	2.1%
下水道会計	1億3,794万9千円	8.5%
病院会計	5億8,412万円	36.0%
小計	8億2,093万4千円	50.6%
合計	16億2,091万6千円	100.0%

※以上のように特別会計では、国民健康保険会計が全体の22.9%を、企業会計では、病院会計で全体の36.0%と高い割合を占めています。

一般会計

(平成18年9月30日現在)

予算額	歳入		歳出	
	収入済額	執行率	支出済額	執行率
146億6,449万1千円	71億8,041万6千円	49.0%	57億3,610万3千円	39.1%

特別会計

(平成18年9月30日現在)

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
交通傷害共済	1,064万7千円	984万6千円	92.5%	303万2千円	28.5%
国民健康保険	42億2,971万4千円	11億5,021万4千円	27.2%	15億6,936万2千円	37.1%
老人保健	28億1,950万1千円	11億5,006万円	40.8%	12億6,542万7千円	44.9%
汚水処理	2,652万2千円	292万5千円	11.0%	1,549万7千円	58.4%
農業用水	5,192万5千円	2,083万8千円	40.1%	1,732万9千円	33.4%
介護保険	11億7,276万2千円	4億7,159万2千円	40.2%	3億9,862万円	34.0%
合計	83億1,107万1千円	28億547万5千円	33.8%	32億6,926万7千円	39.3%

市の借入金の状況

(平成18年9月30日現在)



※9月末時点での一時借入金現在高は、0円となっています。

一時借入金とは、経理運営するうえで、資金不足となった時、他の機関から一時的に資金を調達するものです。これは短期間の借入で将来の負債としては残りません。

市債の現在高

(平成18年9月30日現在)

借入先 会計名	財政融資資金	郵政公社資金	銀行ほか	合計
一般会計	122億3,804万1千円	24億1,475万2千円	84億6,471万8千円	231億1,751万1千円

住みよい街づくりを進めるうえで、道路・学校などの大型事業を実施する場合、市税だけではまかなうことができません。そこで、財源の一部として市債により資金を調達しています。長期にわたって返済することにより世代間の住民負担の公平を図ることができます。